

県土整備部

番号	区分	事業名(市町村名)	事業計画				総合評価		答申結果
			着手年度	完成年度	主な事業内容	総事業費(百万円)	対応方針案	理由	
1	公共	地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道107号 白石峠 (大船渡市、住田町)	R4	R13	計画延長: L=2.7km 計画幅員: W=6.5(9.0)m(トンネル東側区間) W=6.5(9.5)m(トンネル西側区間) 主要構造物: トンネル2.3km、橋梁1橋	9,400	事業実施	<p>○当該路線は、トンネル整備により、急カーブ、急勾配が連続する峠区間の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保を図るものである。</p> <p>○社会経済情勢等については、重要港湾である大船渡港と内陸を結ぶ物流上重要な路線であり、また、緊急輸送道路の1次路線として、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。「いわて県民計画」及び「岩手県国土強靱化地域計画」における政策目標に合致しており、災害に強い幹線道路の整備を推進することとなる。また、大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から整備促進について強い要望がある。</p> <p>○自然環境等への配慮については、事業実施にあたっては振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議及び現地調査を行い、環境に配慮して事業を進めることとする。</p> <p>○事業計画の妥当性については、指標及び費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案等を検討した結果から妥当であると判断したものである。</p> <p>○以上のことから、本事業の目的を達成するためには、現時点での社会経済情勢等の状況などを検討した結果、本計画のとおり事業実施が妥当であると判断したものである。</p>	「事業実施」とした県の評価は妥当と認められる。